

わくわくコマツ館ニュース

2月号



「第4回 松元伸乃介展」開催

2月28日、わくわくコマツ館2Fで「第4回 松元伸乃介展」を開催し、165名が来場しました。
松元伸乃介さんは、金沢市在住で色彩豊かに繊細な動物たちを描く自閉症のイラストレーターです。わくわくコマツ館での開催は今年で4回目を迎えました。
今回は松元氏の作品50点以上を展示。また、先着20名様限定で似顔絵会を同時開催しました。対象とする人の印象から浮かんだ動物の絵を描かれる似顔絵会は毎回大人気で、準備していた整理券が今年はわずか30分で無くなりました。
イラストを描いてもらったお客様たちは、うさぎやカンガルー、白熊、象、サイなど様々な動物のイラストにニコリとした表情を浮かべ、大満足の様子でした。



【「松元伸乃介展」来場者アンケートより】

松元さんの絵はすごく心が落ち着くようなもので、大好きです。これからもたくさん描いてください。
(10代・女性)

とても絵が細かくてきれい！

(10代 男性)

自分たちがどんな動物なのかすごく楽しみにしていたので、すごく楽しかった！

(30代 女性)



第41回理科教室

「ペットボトル空気砲を作って遊ぼう！」



スタッフオリジナルのピタゴラ装置。 空気砲でマト当てに挑戦！
空気砲からスタート！

2月14日、理科教室を開催し小松市・加賀市・白山市・金沢市から児童18名が参加しました。
今回のテーマは「空気砲」。空気砲は見たことがあるけど、実際にやってみるのは初めて！という児童がほとんどでした。
まずは先生方の実演。大きなダンボールの空気砲からきれいな輪っかの煙が飛び出しました。実演を見た後は、空気砲作り。身近にあるペットボトルや風船で空気砲を作り、マト当てゲームを楽しみました。

里山だより



暦の上ではもう春。げんき里山にも、ゆっくりと春が近づいてきています。
園内に雪が積もった2月14日、フキノトウが顔を出し、また小川のそばでは、ネコヤナギのかわいらしい花穂を見つけました。



ネコヤナギ



フキノトウ